

No.	020	—	2004	事務事業名	愛媛大学・東温市医師会との連携事務					公的関与	2		
PLAN	課名	警防課		係名	救急救助係		電話番号	089-964-5210		メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	2 消防・救急体制の充実				
	事業の目的	市民の安心・安全を守るため。					根拠法令等						
	事業の手段	愛媛大学医学部附属病院、東温市医師会と連携し救急隊員の知識、技術の向上に努めます。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
		東温市脳卒中患者搬送連絡協議会		年2回			回	目標	3	2			
								実績	3	0			
		東温市医師会主催の東温市健康フォーラムの参加		年1回			回	目標	1	1			
								実績	1	0			
						目標							
						実績							
活動内容	①	症例検討会を計画し開催予定であったがコロナのため中止				④							
	②	脳卒中先進地視察研修及び研修会を計画したがコロナのため中止				⑤							
	③	健康フォーラム参加予定であったがコロナのため中止											
予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費				
直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考								
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円									
	地方債	0千円	0千円	0千円									
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円									
	一般財源	0千円	0千円	0千円									
	計(A)	0千円	0千円	0千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.104人	649千円	0.104人	650千円	0.104人	645千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		649千円	650千円	645千円									
一次評価者	救急救助係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	愛媛大学附属病院と東温市医師会との連携の継続は東温市の医療体制を充実させるため必要です。												
有効性	連携を強化することにより東温市の救急医療体制の強化・充実に繋がります。												
達成度	症例検討会、研修会、視察研修を行うことにより救急隊員の知識の向上になり医療機関との連携強化に繋がっています。												
効率性	医療機関との連携強化により重症度の高い傷病者を近隣の医療機関で早期に治療が受けられ、効率的に運用されています。												
当面の課題	救急隊員と医療機関との連携を強化するため、東温市医師会との関係を深めていく必要があります。												
改訂計画	救急隊員の知識・技術の向上のため医療機関と連携し、救急活動の事後検証、症例検討会を計画し実施していきます。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	東温市の救急医療体制や救急隊員の知識・技術向上を図るため、引き続き医療機関との連携強化に努めてください。												

No.	020	—	2058	事務事業名	緊急被ばく事務						公的関与	2	
PLAN	課名	警防課	係名	救急救助係	電話番号	089-964-5210		メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~				
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	2 消防・救急体制の充実				
	事業の目的	緊急被ばくに対する知識習得のため。				根拠法令等							
	事業の手段	研修会に参加し医療機関との連携強化を図る。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		災害対応訓練の実施		特殊資機材取扱い及び特殊災害対応訓練の実施回数		回	目標 10	10	10				
		実績					5	5					
		専門的な講習及び研修会への参加		特殊災害に対する専門知識の習得人数		人	目標 4	4	4				
		実績					2	2					
目標													
DO	活動内容	①	被ばく患者の除染及び搬送マニュアルの構築			④							
		②	活動隊員の被ばく防止対策研修会の実施			⑤							
		③	関係機関と合同訓練の実施										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	0千円	0千円								
	計(A)	0千円	0千円	0千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.008人	50千円	0.008人	50千円	0.008人	50千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		50千円	50千円	50千円									
一次評価者	救急救助係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	災害が多種多様化してきている現在において、何が起こるか分からない現状であるため、特殊災害においても専門的知識を隊員に身につけさせる必要があります。												
有効性	特殊災害発生時において素早い現場対応を行えるとともに、関係機関との協力がスムーズに行えます。												
達成度	関係機関との合同訓練を通して各機関との連携強化を図ります。												
効率性	計画的に資機材の更新を行うことで費用の軽減を図ります。また、関係機関との連携を強化します。												
当面の課題	特殊災害に対する専門的知識と対応資機材の整備が課題です。												
改訂計画	緊急被ばくに対する知識習得のため研修会及び検討会の参加を行うとともに、必要資機材について整備検討を行います。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	特殊災害の専門的知識の習得に努めるとともに、特殊災害対応資機材の計画的な更新を実施してください。												

No.	020	—	2063	事務事業名	地域ヘリポート整備支援事業				公的関与	2			
PLAN	課名	警防課	係名	救急救助係	電話番号	089-964-5210		メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～ 令和2年度			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	2 消防・救急体制の充実				
	事業の目的	ドクターヘリが着陸し、迅速に医療介入するため。				根拠法令等							
	事業の手段	小学校のグラウンドにドクターヘリが着陸できる散水設備を設置します。				掲載計画	東温市防災計画						
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		散水設備	設置数		式	目標	2	1					
						実績	2	1					
						目標							
						実績							
					目標								
	実績												
活動内容	①	散水設備が必要な臨時ヘリポートの確認			④								
	②	散水設備の設置			⑤								
	③	散水設備設置後の放水確認、訓練											
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防		費					
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	1,590千円		575千円		0千円						
		地方債	0千円		0千円		0千円						
		その他特定財源	0千円		0千円		0千円						
		一般財源	1,590千円		575千円		0千円						
		計(A)	3,180千円		1,150千円		0千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.010人	62千円	0.010人	62千円	0.000人	0千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
		全体事業費(A+B)	3,242千円		1,212千円		0千円						
一次評価者	救急救助係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	小学校のグラウンドにドクターヘリが迅速に着陸するためには散水設備が必要です。												
有効性	グラウンドに迅速に散水することができ、ドクターヘリが着陸できます。												
達成度	学校の教職員と訓練を実施し、連携を図ることができ、ドクターヘリを有効に活用できます。												
効率性	救命率向上のため、ドクターヘリを有効活用し住民の安心・安全を守ります。												
当面の課題	学校職員の方との訓練は実施しましたが、今後は消防団員、地域の方とも訓練を重さね有事の際に誰もが使用できるようにしていく必要があります。												
改計画	各関係機関、地域住民の方との定期的な訓練を実施する必要があります。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	大災害による孤立地域の患者搬送にはドクターヘリを有効活用する必要があります。ドクターヘリの機動性・迅速性を十分に発揮できるよう、散水設備の定期的な取扱い訓練が必要です。												